

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第50週 (12/11-12/17) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		50週	49週	48週	47週
上段:患者数	小児科	18	18	18	18
下段:定点当たりの患者数	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	12/11-12/17	12/4-12/10	11/27-12/3	11/20-11/26	12/4-12/10
			50週	49週	48週	47週	49週
小児科	RSウイルス感染症		1 0.06	1 0.06	3 0.17	4 0.22	55 0.41
	咽頭結膜熱	○	12 0.67	4 0.22	7 0.39	4 0.22	87 0.64
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36 2.00	51 2.83	46 2.56	44 2.44	530 3.93
	感染性胃腸炎	○	233 12.94	179 9.94	149 8.28	113 6.28	1,021 7.56
	水痘		14 0.78	6 0.33	14 0.78	12 0.67	78 0.58
	手足口病		15 0.83	21 1.17	23 1.28	28 1.56	156 1.16
	伝染性紅斑		1 0.06	0 0.00	0 0.00	3 0.17	3 0.02
	突発性発しん		7 0.39	8 0.44	4 0.22	4 0.22	42 0.31
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
	ヘルパンギーナ		0 0.00	0 0.00	1 0.06	4 0.22	8 0.06
	流行性耳下腺炎		3 0.17	4 0.22	4 0.22	4 0.22	31 0.23
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	○	136 4.86	64 2.29	57 2.04	49 1.75	967 4.50
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		1 0.20	0 0.00	2 0.40	5 1.00	19 0.54
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	6 0.67
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	病原体遺伝子の検出	結核	男性	70歳代	病原体等の検出
結核	男性	60歳代	IGRA検査	結核	女性	60歳代	IGRA検査

・第50週は、結核4件(205)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

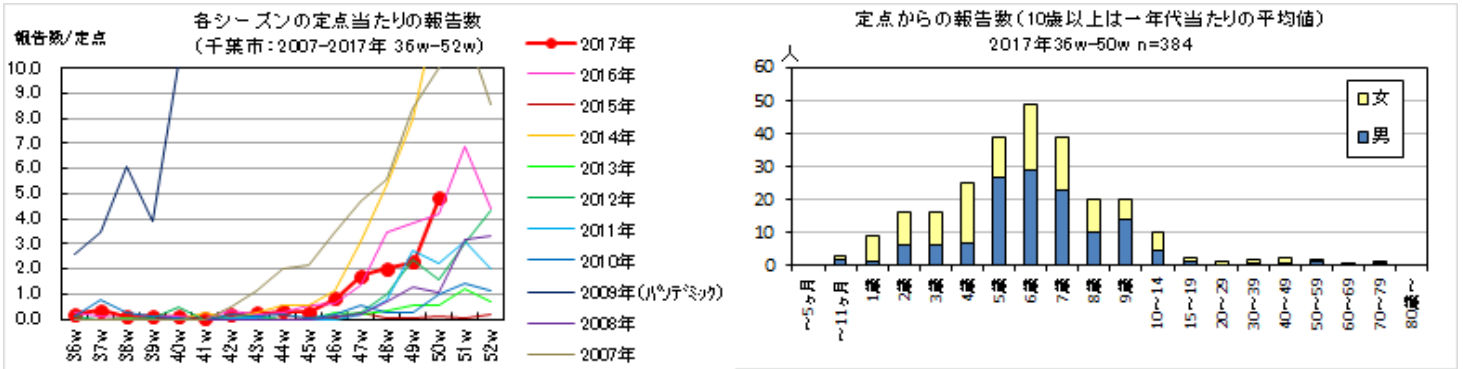
定点当たり報告数 第50週のコメント

- <咽頭結膜熱> 前週より増加し0.67となった。過去10年の同時期と比べると2014年と並んで最多。
- <感染性胃腸炎> 前週より増加し12.94となった。過去10年の同時期と比べるとやや少なめ。
- <インフルエンザ> 前週より増加し4.86となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。

■ トピック ■

<インフルエンザ>

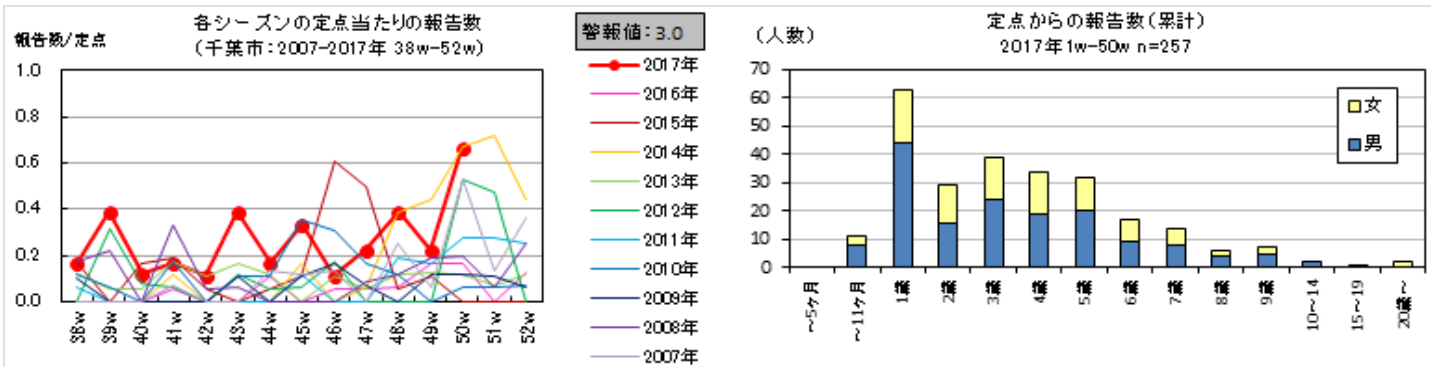
全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では長崎県、沖縄県、大分県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の2017年第50週は前週より増加し4.86となりました。過去10年の同時期と比べるとやや多めとなっています。区別の発生状況は、中央区(8.8/定点)で最多で、一年代あたりでは同区の5歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第50週までの累積報告数(n=384)によると、性別では男性が49.2%(189名)、女性が50.8%(194名)で、年齢階級別では6歳(12.8%:49名)、5歳及び7歳(共に10.2%:39名)の順に多くっており、20歳未満は全体の77.6%、10歳未満は全体の61.5%となっています。



	第50週	市全体	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区
基準値超過	-	-	-	-	-	-	-	-
過去10年の同時期との比較	やや多め	ほぼ同じ	多め	やや多め	やや少なめ	少なめ	やや少なめ	
昨年の同時期との比較	多い	多い	ほぼ同じ	少ない	多い	多い	少ない	

<咽頭結膜熱>

全国レベルは第39週から過去10年の同期と比べると最多のまま推移しており、第49週も同様となっています。都道府県別では富山県、北海道、宮崎県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや少なめとなっています。千葉市の2017年第50週は前週より増加し0.67となり、過去10年の同時期と比べると2014年と並んで最多となっています。区別の発生状況は、若葉区(3.0/定点)で最多で、同区の3歳及び4歳で多く発生報告がありました。2017年第1週から第50週までの累積報告数(n=257)によると、性別では男性が61.9%(159名)、女性が38.1%(98名)で、年齢階級別では1歳(24.5%:63名)、3歳(15.2%:39名)、4歳(13.2%:34名)の順に多くなっています。



<感染性胃腸炎>

全国レベルの第49週は、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では大分県、愛媛県、東京都の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同じ水準となっています。千葉市の2017年第50週は前週より更に増加し12.94となりました。過去10年の同時期と比べるとやや少なめとなっています。区別の発生状況は、稲毛区(21.3/定点)で流行発生警報開始基準値(20.0/定点)を上回り最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第50週までの累積報告数(n=1341)によると、性別では男性が53.3%(719名)、女性が46.7%(622名)で、年齢階級別では1歳(21.8%:292名)、2歳(14.0%:188名)、3歳(11.2%:150名)の順に多くなっています。

